

蜂谷戸防災かわら版

第2号

自分の命は自分で守ろう！

「近助」と「自守防災」！

平成26年2月8日

小川自治会

蜂谷戸支隊

情報・広報班

本年1月に創刊した「蜂谷戸防災かわら版」第1号はいかがだったでしょうか？家族の皆さんでお読みいただけただいしょうか？是非感想、ご意見をお寄せください。今月は第2号をお届けします。

自主防災隊の活動報告

＜自主防災隊全体の活動＞

25年11月 ・街頭消火器大增設(全体では5か所から24か所に。蜂谷戸区域ではゼロから4か所に！)

12月 ・定例支隊長会議、本部役員合同会議開催

＜蜂谷戸支隊の活動＞

25年12月 ・“自宅用消火器の充実”に関わるアンケート実施/集計

26年 1月 ・「蜂谷戸防災かわら版」創刊

1月 ・定例支隊長会議開催(中長期の課題整理と当面の優先課題、防災倉庫の整理と管理他)

1月 ・自宅用消火器の発注(20日)、引き渡し(2月1日)

ご存知ですか？…防災豆知識

【防災の3鉄則】

大地震に備える際、最も大切なことは次の3つです。

- ① **死なない。怪我をしない**
- ② **火事を出さない**
- ③ **救助が来るまで生き延びる**

そのための具体的な備えは次の通りです。

【死なない、怪我をしないための備え】

- ・家の耐震診断、耐震補強
- ・家具や電気器具の倒壊防止、ガラスの飛散防止

【火事を出さないための備え】

- ・火災報知器、煙感知機の設置
- ・家庭用消火器の設置、防火用水の準備
- ・感震ブレーカーの設置

【救助が来るまで生き延びるための備え】

- ・7日分の飲料水、食料及び燃料等を備蓄する
- ・非常用持ち出し袋や防災ベストを準備する
- ・緊急時の連絡方法、集合場所等を家族で確認

皆さん、防災に対する備えは充分ですか？

“その内・・・”と先延ばしにいませんか？

「防災対策いつやるの？ 今でしょ!!!」

耳より！…役に立つ防災ノウハウ

【非常用品は3段階に分けて準備】

非常用品は、次の3段階を想定して準備します。

- ① **1次持出し(地震直後の避難時に持出す物)**
- ② **2次持出し(1～2日避難するのに必要な物)**
- ③ **長期非常用品(長期被災生活に備える物)**

【1次持出し】

- ・避難最優先。最小限必要なものを防災ベストやポーチ、軽いリュック等に入れ、取り出し易い所に保管。
- ・携帯ラジオ、懐中電灯、携帯充電機、ホイッスル、眼鏡、軍手、マスク、ティッシュ、簡易非常食、水、常備薬他

【2次持出し】

- ・1～2日避難するのに必要な物を両手が使えるリュック等に入れ準備。できれば家族それぞれ分を用意。
- ・1～2日分の非常食・水、下着、雨具、簡易トイレ、多機能万能ナイフ、保温シート、ホッカイロ、タオル、常備薬、救急用品、予備電池、現金、レジャーシート他

【長期非常用品】

- ・長期被災生活を想定した非常用品を倉庫等に保管
- ・1週間分の食料・水、カセットコンロ・ボンベ、鍋、食器、簡易トイレ、トイレトーパー、ランタン、着替、電池、携帯充電機他。詳細は自治会配布「安全ノート」参照。